

ダム の 検査

- InspecTerra社独自のiCammスキャニング・ツールを使用して、主要橋脚の鉄筋の状態を評価。
- 電気化学的腐食が発生しやすい高湿度環境下の橋脚検査。

調査報告

- 約4時間で橋脚壁面10面をすべて検査完了(2人工)。
- 各エリアにおける鉄筋の断面損失(腐食量)を定量化。
- iCamm調査結果はコンクリート表面の目視検査と強い相関関係があった。



- 一部鉄筋露出が必要な自然電位法とは異なり、iCammは完全非破壊で検査が可能。また、自然電位法では湿潤状態により結果が変化するが、iCamm検査では湿潤状態による結果の変化は一切なく、迅速な検査が可能。
- コンクリート表面を直接走査させるだけ
- 表面処理は必要なし
- 悪環境条件が調査結果に影響を及ぼさない (例: 高湿度/高湿潤、塩/塩化物の存在など)

目視観察とiCamm検査の比較

湿気と水の流れが多いため、壁の下部で鉄筋の腐食が多くなる。

